





南区





## 南区のまちづくりの目標

### 1 区の特徴

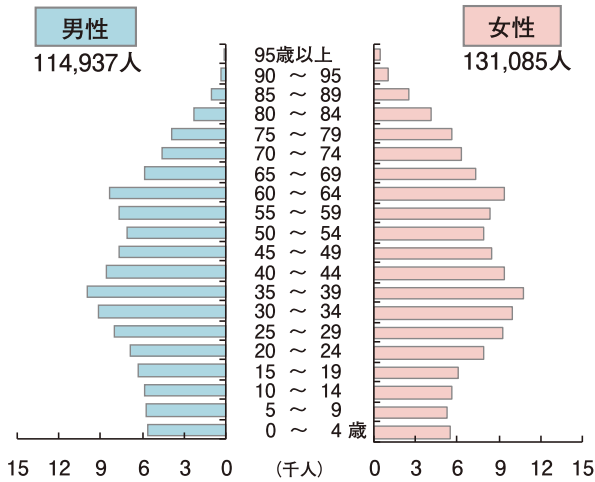
- 面積は7区中5番目(全市の9.1%)ですが、人口は東区に次いで2番目(全市の16.9%)、人口密度は中央区、城南区に次ぐ3番目で、昼間人口に比べて夜間人口が多い「くらしのまち」です。
- 南西にそびえる油山や南北に流れる那珂川、鴻巣山などの身近な自然環境に恵まれています。中でも、野多目大池、老司大池、野間大池をはじめ56か所を数える「ため池」は、南区の景観の大きな特色となっており、地域のオアシスとして散策コースなどに活用されています。
- 全体的に丘陵地などを開発したため坂が多く、谷間の部分に道路がつくられまちが発展してきました。昭和30年代半ば以降に急速に住宅開発が進められ、区内全域に戸建て住宅や、長住団地、弥永団地、若久団地などの大規模団地が広がっています。また、九州大学芸術工学部、香蘭女子短期大学、純真学園大学、純真短期大学、第一薬科大学、福岡女学院大学などの特色ある大学・短大が立地する文教地区でもあります。
- 大橋駅から高宮駅の周辺にはマンションや商業施設、区役所、市民センター、男女共同参画推進センターアミカスなどの公共施設が立地しており、ここから区の西部・南部地域などへ道路交通網が伸びて、平成外環通りを運行する便も加えたバス路線を中心にして区全体を結んでいます。

### 2 現状と課題

- 人口は、近年は概ね横ばいで、今後も2022年(平成34年)まではほぼ横ばいで推移すると予測されます。その中で、少子高齢化はさらに進行し、2022年(平成34年)には南区全体で65歳以上の人の割合(高齢化率)が4人に1人になると予測されます。
- 高齢化の現状は校区によって異なっており、区の西部・南部地域を中心にして、高齢化率が既に20%を超えている地域が全25小学校区のうち13校区あり、うち5校区は25%以上となっています。

- 近年、全国的に地震や集中豪雨などの自然災害が増加しており、災害直後の行政の支援が届きにくい段階での住民による主体的な取組みが一層重要になっており、身近な地域での安否確認や救助の仕組みの構築や体制の確保などが課題となっています。
- 7区の中で唯一地下鉄がない南区で、西鉄天神大牟田線からも遠い区の西部・南部地域では、高齢化とも相まって、バスの路線網や運行本数の充実など利便性の向上が求められています。あわせて、人や車の円滑な通行のために、道路や交差点の機能向上も必要です。また、他の地域も含めて丘陵地にはバスが通ることができない狭い道路も多く、今後さらに高齢化が進行する中で地域を循環するバスなどの導入、そのための制度の研究などの対応策が求められています。

■ 南区 5歳階級別人口



資料:平成22年国勢調査  
(注)年齢不詳を除く

■ 南区の高齢化率の状況



資料:住民基本台帳(平成24年6月末現在)

### 3 まちづくりの目標と取組みの方向性

いきいき南区 くらしのまち

～身近な自然とふれあい みんながつながり支え合う～

#### 人のつながりや交流が大切にされ、地域で支え合い・助け合うくらしやすいまち

南区には、大規模な公共施設・企業・商業施設・工場などは少なく、早くから地域活動が盛んな「人と地域コミュニティ」が財産のまちです。

身近な地域コミュニティの人や組織が、人々の日々のくらしを支え、行政はそのネットワークづくりや公民館をはじめとする活動の場づくりを支援します。

そして、住民と行政が一緒になって、地域の支え合いによる子育てや高齢者への支援、健康づくりや福祉の向上などに取り組み、くらしやすいまちづくりを進めます。

#### みんなにやさしい、安全で安心して住み続けられるまち

安全で安心して健やかにくらしたいというのは、みんなの願いです。

そのため、防犯・防災や交通安全などの取組みを行政と住民との共働で進めます。

商業施設などが多い校区では、都市型の犯罪や交通量の多さなど、住宅が中心の校区などでは、高齢者や子どもの見守りなど、地域ごとに異なる課題に応じて工夫しながら、「安全・安心」なまちづくりを進めていきます。

また、歩道のフラット化(※1)や歩行部分のカラー化(※2)、交差点の隅切りやバスカット(※3)設置など、人にやさしい道づくりを進めるとともに、高齢化が進む南区での日常生活を支えていくため、主要な公共交通機関であるバスの利便性の向上や、自転車などの利用の促進とそのために必要な整備を図ります。

(※1)歩道のフラット化 : 緑石で分離している歩道面と車道面の高さを同一またはできるだけ同程度にすること。

(※2)カラー化(歩行部分のカラー化) : 路面を着色することで歩行部分を明示すること。

(※3)バスカット : バス乗降のための専用スペースを確保するため、停留所前の車道を歩道側へ広げたもの。設置することで交通の流れがスムーズになる(バスベイともいう)。

**那珂川やため池、油山などの自然がさらに身近に感じられるうるおいとやすらぎのあるまち**

那珂川やため池などの水辺や、油山や鴻巣山、花畑園芸公園、もーもーらんど油山牧場などの緑がさらに身近に感じられ、心と身体健康づくりなどにも役立つ取組みを進めるとともに、地域での環境を守り育む活動や、自然とふれあう活動を支援します。

また、将来の水辺や緑の望ましい姿や必要な整備・活用方法についても検討するなど、自然に親しむことのできる「うるおいとやすらぎ」のあるまちづくりを進めます。

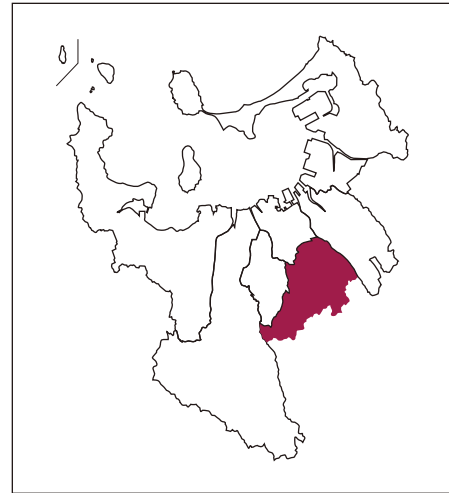
**大学や隣接地域との連携・交流や文化活動などが盛んで、活気あふれるまち**

南区にある大学・短大のもつ情報や専門的知識を子育てや高齢者の健康など、住民のくらしの課題解決に生かす取組みを進めるとともに、学生が地域コミュニティと関わりをもち、まちづくりに携わることができるよう、学生と地域との交流を促進します。

また、隣接する那珂川町と行政区域を越えた住民同士の交流を深めます。

そして、市の南部広域拠点である大橋エリアと、地域拠点である長住・花畑地域を含む区の西部・南部地域を結ぶ道路交通網の強化や公共交通の利便性向上などにより、より多くの人が行き交い、商業も活性化するなど、南区全体が活気あふれる「くらしのまち」となることをめざします。

南区地図概要



Ⅲ 区のまちづくりの目標 南区

